

我が社における保安活動(優良販売業者編)



昭和電工ガスプロダクツ株式会社 東北支店 支店長

岡崎 徹

1 事業所沿革

- 1956年 昭和炭酸株式会社仙台出張所を仙台市宮城野区苦竹に開設
- 1972年 昭和炭酸株式会社仙台営業所に改め仙台市宮城野区宮千代に移転
- 1994年 昭和炭酸株式会社仙台営業所仙台市宮城野区榴岡に移転
- 2008年 昭和炭酸株式会社東北支店に名称変更
- 2009年 昭和電工(株)の産業ガス事業を継承
- 2012年 昭和電工ガスプロダクツ株式会社に社名変更
- 2016年 昭和電工ガスプロダクツ(株)東北支店ドライアイス販売事業とともに宮城野区日の出町に移転

2 事業概要

当社は旧社名「昭和炭酸」時代より主に液化炭酸ガス及びドライアイスの製造販売とともに、主力顧客である飲料製造時置換用の及び食品凍結用に液体窒素及び冷媒ガスを販売していた。2009年昭和電工産業ガス部門との合併後、酸素・窒素・アルゴン及び圧縮水素の製造販売も継承した。

東北支店管轄の顧客には関東地区で製造し

た、液化炭酸ガス、液化酸素液化窒素、液化アルゴン及び東北地区(福島県)で製造した圧縮水素を販売している。

3 表彰履歴

- 2002年 宮城県高圧ガス保安協会会長表彰(優良販売事業所)
- 2009年 高圧ガス保安協会東北支部協賛会長表彰(優良販売者)
- 2011年 原子力安全・保安院長表彰(優良販売者)
- 2012年 宮城県知事表彰(優良販売者)
- 2015年 高圧ガス保安協会会長表彰(優良販売者)

4 保安に対する考え方

当社東北支店では高圧ガスの販売所として顧客に販売している製品の安全性を法令に基づき安全に納入する役割と、顧客の高圧ガス設備を安全に使用できるよう維持する役割を担っている。

当社は経営理念の筆頭に掲げた「お客様に信頼される製品を安定してお届けし適切な技術サービスを提供します。」のとおり安全・安定にお客様に製品を届け、安全にご利用し

ていただくことが最大の責務と考えている。

また「安全はすべてに優先する」の意識を全社共有し、支店レベルでも 1. 安全 2. 品質 3. 安定供給を最優先に考え、継続的にご使用いただきお客様の事業の発展に役立てていただくよう行動している。

5 保安活動

全社共通の保安、環境、品質、安全に関する社内規定を定め、東北支店においてもこれに基づき事業を行っている。また社内・外部機関の監査を実施し、適切に事業が行われていることも確認し、改善すべき点、新たに付加することが見つかったときは都度更新を実施している。

顧客の設備については1年間の自主検査スケジュールを立て、計画どおりの進捗状況を支店全員が見える状態で管理し、営業担当の客先訪問時に状況を把握している。

支店内の緊急連絡体制については、休日・夜間でもお客様の設備に異常が発生した際には、直ちに対応できるように整備、また定期的に訓練も実施している。

定例の支店会議において、お客様の設備の状況、老朽化の進み具合等を担当より報告し、支店全員で共有することで、突発の不具合発生に対しても素早く対応できるよう努めている。

高圧ガス関連の男性社員はすべて乙種製造責任者資格を有し、女性社員も販売主任者の資格を有しており、取扱いガス類及び付帯設

備に対する基礎的な知識は各自備えている。今後さらに知見を深めるため、資格の取得に支店としても奨励している。

2011年東日本大震災の際、多くのお客様が被災し、高圧ガス設備にも多大な影響を受けた。一方供給網も車両、容器等に多大な被害を受け、お客様の設備を復旧することと、供給体制を再開させることを同時並行に行わなければならない状況、また同時にそれに対応する当社社員の生活も復旧させなければならない状況を経験した。日常の活動において、ルールを守り製品の特性に精通し、常に安全第一で業務を遂行することによって、非常時にも対応することができると考えている。

6 今後の抱負

保安をテーマに当社製品を使用している顧客とコミュニケーションを密にとり、顧客の高圧ガスの保安意識・保安知識を向上させることによって、当社とともに切磋琢磨し安全を確立させていきたい。日常の高圧ガスの取り扱いに慢心が発生しないように心掛け、二人三脚で取り組んでいきたいと思う。

また東日本大震災から8年が経過したが、今後起こりうるかもしれない万が一に備え、高圧ガスによる災害を起こさないよう、また素早く復旧させ、当社の製品を必要とする方々に一刻も早くご使用いただけるような体制を平時より整えていきたいと思う。

岡崎 徹（おかざき とおる）